



鳥取県認定グリーン商品

とっとりエコソイル



一般国道313号(北条倉吉道路)
道路改良工事にて使用



木のリサイクル82%
防腐剤未使用

エコマーク認定番号
03115013

とっとりエコソイルは、鳥取県内から産出される循環型資源（樹皮、木くずを80%以上使用）を堆積発酵させたものに、ピートモスやパーライト等を混合することにより、保肥力、保水性、通気性を備えた、**地球環境にやさしい**植生用の緑化基盤材です。



(50リットル入り)

製造元



北溟産業有限公司

鳥取県倉吉市岡20-10
TEL(0858)28-5782
FAX(0858)28-6425

製品行程一覧



製造行程





認定番号 第 17 号

鳥取県認定グリーン商品認定証

住 所 倉吉市岡 20 番地 10

氏 名 北溟産業有限会社
代表取締役 中川 優広

鳥取県グリーン商品認定要綱第 3 条第 1 項の規定により認定を受けた商品であることを証する。

令和 4 年 3 月 23 日

鳥取県知事

平井伸浩



認 定 年 月 日	平成 15 年 10 月 30 日
認 定 の 有 効 期 限	令和 7 年 3 月 31 日
品 目 名	緑化基盤材
認 定 商 品 名	とっとりエコソイル
用 途	法面の緑化基盤及び園芸用土
原材料となる循環資源名	樹皮・木くず、動植物残さ、家畜ふん尿
製造・加工事業所の名称	北溟産業有限会社
製造・加工事業所の所在地	倉吉市岡 20 番地 10
認 定 条 件	—



鳥建技 第 59 号
平成18年6月19日

北溟産業有限会社 様

財団法人鳥取県建設技術センター理事長



新技術・新工法及びリサイクル製品活用システムへの応募結果に
ついて（通知）

平成18年2月20日付けで申請のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

- 名 称：1. 北溟パーク
2. とリエコパーク
3. だいせんエコソイル
4. とっとリエコソイル

応募結果：以下の理由により承認（実施要領 3（3）イ）となりました。

理 由：

1. 北溟パーク

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品（鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク）に認定されている。

経済性についても、県単価のバーク堆肥と同等であることから承認する。

2. とリエコパーク

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品（鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク）に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材して同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

3. だいせんエコソイル

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品（鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク）に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材して同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

4. とっとリエコソイル

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品（鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク）に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材して同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

品質証明書

品名 とっとりエコソイル
用途 緑化基盤材
形態 ポリ袋 (50リットル)
成分 バーク堆肥・ピートモス・パーライト

以上の通り証明いたします。

令和 年 月 日

製造元

鳥取県倉吉市岡 20-10

北溟産業株式会社

代表取締役 中川優広

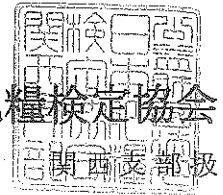




令和5年8月18日

証 明 書

公益財団法人 日本肥料検定協会



下記成績は、依頼者から提出された試料について行った分析・試験結果であることを証明します。

依頼者名 北溟産業有限公司

試料名 とっとりエコソイル
(依頼者指定の名称)

記

分析・試験結果

項目	分析結果	乾物換算値	単位	分析方法 (肥料等試験法(2022))
水分	58.47	—	%	3.1.a 乾燥器による乾燥減量法
窒素全量 (N)	0.58	1.40	%	4.1.1.a ケルダール法
りん酸全量 (P ₂ O ₅)	0.88	2.12	%	4.2.1.a バトモリブデン酸/モロム吸光度法
加里全量 (K ₂ O)	0.28	0.67	%	4.3.1.a フレーム原子吸光法
有機物 (強熱減量法)	27.95	67.30	%	土壌改良資材品質表示基準 (昭和59年農林水産省告示第2002号) 別紙試験方法を準用
有機炭素 (C)	14.43	34.75	%	4.11.1.b 燃焼法
炭素窒素比 (C/N)	25		—	4.11.2.a 有機炭素及び窒素全量による算出
陽イオン交換容量	36.4	87.6	meq/100g	肥料分析法 (1992) 5.31.2 酢酸バリウム法
pH(乾物相当量 1:10水, 28°C)	6.8		—	3.3.a ガラス電極法

分析・試験責任者 藤 森 広 智